

平成 21 年 12 月 16 日

京情協 地域情報化委員会 (21 年度 第 5 回) 議事録

開催日時:平成 21 年 12 月 15 日 (火) 17:00~18:10

開催場所:京都コンピュータ学院駅前校 本館 1F インフォメーションルーム

参加者:和田、木下、相原、福本、桧山、中川、桂田 (敬称略)

配布資料:地域情報化委員会(第 5 回)議題、添付資料 ~

議事:

【議題 1 : 他団体の成功事例の調査結果】 添付資料

- ・委員に協力を仰ぎ、各都道府県の同業他団体の活動調査を行い、その調査結果を添付の通りまとめた旨、委員長より報告がなされた。
- ・調査結果の中で、気になる活動を委員が報告した。
 - ・相原氏: 「6-1. ビジネススキルセミナー及びワインの集い」
 - ・ボジョレーヌーボー解禁日に合わせセミナーと交流会を実施。こういう手法もあるのかということで目を引いた。
 - 「16-1. 中小企業ユーザー向けセミナー」
 - ・中小企業向けセミナーのテーマとして、ホームページ活用に関するテーマは訴求力があるのではないかと興味を持った。
 - ・福本氏: 「12-2. 夢絵コンテスト」
 - ・子供を対象にしたコンテストで、「ぼくたち、わたしたちの未来の世界」をテーマに絵を募集。地域との密着と協会 PR が目的。
 - ・実施するとなると本腰を入れて対応する必要はあるが、外向きのテーマでもあり良いのではないかと。
 - 当活動については、議題 2 にて委員長より報告がなされた。
 - ・桧山氏: 「4-4. 研修旅行 (CEATEC JAPAN)」
 - ・「CEATEC JAPAN」は、最先端の IT 技術などを知ることが出来る展示会のため、どの会社も興味があるのではないかと。幕張メッセ (千葉) で開催されるため、京都からバスで移動してはどうか。
 - ・関西地区にも同様の展示会はあるが、規模の点では「CEATEC JAPAN」が勝る。
 - ・中川: 「3-6. 中堅社員ビジネス行動力強化研修」
 - ・技術研修は技術委員会が実施しているが、ビジネススキルに関する研修は、「(確保・育成も含めた) 人材」というテーマを掲げている当委員会が担当しても良いのではないかと。
 - 「4. 視察・研修旅行」
 - ・宿泊を伴うかどうかは別にし、視察 (産業観光) は興味深い。特に異業種の視察 (一例: ダイフクなど) は面白いと思う。視察後に交流会を実施し、会員間の親睦を深めたい。
 - ・桂田: 「6-1. ビジネススキルセミナー及びワインの集い」
 - ・研修と交流が 5 対 5 ぐらいの比率で行われるものが良いのではないかと。
 - ・KVBC で実施された「サーティーズ (30 代の若手幹部社員向け研修)」のように、何

回かのシリーズで研修を行い、懇親会を実施する形はどうか。

- ・上記報告を受け、和田氏より、以下のような提案・情報提供が合わせてなされた。

京情協10周年に視察研修を実施しても良いのではないかと。

濟州島から、ANIAを濟州島で実施して欲しい旨の話がきている。濟州島は特別自治道に指定されており、先端産業の育成などを進めている。

他の団体から招待が来る事がある。

今後、他団体から招待があった場合は、和田氏から教えて頂くこととする。

- ・今後の検討については、正副委員長に一任の上、検討を進めることとする。
- ・来期事業計画に掲載していない活動であっても、出来る事は実施していきたい。
- ・調査結果はデータベースとして保管しておき、今後に役立てていきたい。

【議題2：京情協10周年事業案】 添付資料

- ・2010年度は京情協法人化10周年にあたる。記念事業を翌2011年度に実施する予定。現在、記念事業案を事業推進委員会にて検討しているが、地域情報化委員会からは、「12-2.夢絵コンテスト」を参考にし、添付の案を提出した旨、委員長より報告が行われた。
- ・参考情報として、木下氏より、2011年度に京都国民文化祭が実施予定で、そのイベントを募集している旨の話がなされた。また、和田氏より、ANIA京都開催の話がある旨の話がなされた。

【議題3：大学のリエゾンオフィスの調査】 添付資料

- ・12/22に、立命館大学くさつキャンパスのリサーチオフィス（リエゾンオフィス）にて産学官連携コーディネータをしているバンテック松田氏を訪問・ヒアリングする旨、委員長より報告がなされた。
- ・ヒアリングの一番の目的は、当協会との連携が可能かどうかを探る事である。

【議題4：新春セミナー（1月15日）の講演】 添付資料

- ・12/14に新春セミナー案内を和田氏から会員企業に配信して頂いた。
- ・当日は講師サイドから2名の方が来られる事と、講演内容はセミナー案内内容の通りでOKの了承を先方から得ている旨、委員長より報告が行われた。

【議題5：22年度事業計画（案）】 添付資料

- ・現時点の来期事業計画は添付の通り。内容・予算は今期とほぼ同じである旨、委員長より説明がなされた。
- ・懸念している事業は、地域イノベーションパートナーシップ事業。ASTEM社に確認したところ、政権が交代し申請審査が厳しくなり、内向きのセミナーや、外向きのセミナーであっても一企業単独によるセミナー開催は認可されないだろうとの事であった。どこまで厳しくなっているかなどの詳細は不明。来期計画としては、イノベーションパートナーシップ構想の実現に向けて協力体制を引

き続き取っていくが、申請条件によっては、見送ることもあり得る。

【議題6：その他】

- ・特になし

以上